

2015年3月19日
日立マクセル株式会社

モバイル端末に適したタッチパネル用薄膜高分子フィルム粘着テープを開発

～10 μ m(マイクロメートル)の薄さと高い透明性・接着力を実現～



薄膜高分子フィルム粘着テープ(タッチパネル画面への適用イメージ)

日立マクセル株式会社(取締役社長:千歳 喜弘/以下、マクセル)は、このたび、テープ厚 10 μ m を実現するとともに、透過率 92%という高い光学透明性を持つ薄膜高分子フィルム粘着テープを開発しました。

この粘着テープは、マクセル独自の技術によって新たに開発した薄膜高分子フィルムを基材とし、その片面に、光学特性に優れ、高い接着力を発現する粘着剤を配置したものです。あわせて、独自設計技術により、柔軟性を高めています。

モバイル端末のタッチパネル画面に適用することで、さらなる薄型・軽量化を可能にするほか、機器の形状に合わせた柔軟性が求められるウェアラブル端末など、さまざまな用途への展開を図っていきます。

■新製品の特長

1. テープ厚 10 μ m を実現

この薄膜高分子フィルム粘着テープは、光学特性に優れた薄膜高分子フィルムを基材とし、高い接着力を発現する粘着剤を配置しています。それにより、光学用としては業界トップクラスである 10 μ m の薄さを実現しました。

2. すぐれた耐溶剤性により加飾印刷*1が可能

基材となる薄膜高分子フィルムは耐溶剤性にすぐれているため、基材背面上に直接、額縁印刷やメーカーロゴなどを印刷できます。そのため、ガラス部材の上に印刷を施すという従来の方式で発生していたロスを解消できます。

*1 加飾印刷: タッチパネル画面周囲の額縁印刷

3. 独自設計技術による高い柔軟性

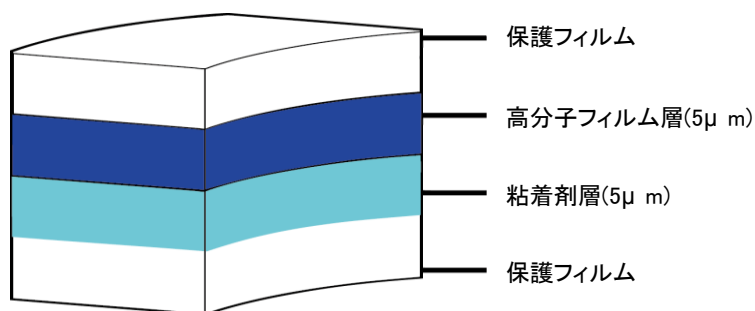
独自のポリマー架橋設計によって薄膜高分子フィルムの柔軟性を高めており、曲面はもちろん角度をもつ部材への適用も可能になりました。従来、課題となっていた、加工の際の部材の欠けや割れが発生しにくくなります。

4. 光学特性に優れた粘着剤

マクセルの技術により光学特性を高めた粘着剤を、フィルムの片面に配置しました。それにより、透過率 92%と高い光学透明性を実現するとともに、薄膜でありながら高い接着力をもたせています。

5. 新プロセス技術による密着力の強化

独自の新しい塗布プロセス技術により、基材となるフィルムと粘着剤間の密着力を大きく高めています。ガラスや機能性部材などへの接着の際に、テープと材料間、テープ層間における接着強度を向上させたことで、製品の信頼性を支えます。



テープの部材構成(イメージ)

今後もマクセルは、各種光学部材料に最適な粘着技術の開発に取り組み、日々進歩するデジタル機器を支える高品質な機能性部材を提案していきます。

■製品ホームページ URL

<http://sliontec.maxell.co.jp/>

以上

ニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日時点のものです。
予告なしに変更され、発表日と情報が異なる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
